

早稲田大学審査学位論文

博士（人間科学）

概要書

シナリオ型ビデオ教材と体験学習を組み合わせた  
ブレンド型研修コースの開発と効果の測定

Development and Validation of a Blended  
Learning Course Using Scenario-Based Video  
Materials and Experiential Learning

2017年7月

早稲田大学大学院 人間科学研究科

杉浦 真由美

SUGIURA, Mayumi

研究指導教員： 向後 千春 教授

## 論文概要

本論文は、医療現場における継続教育の改善を目指し、インストラクショナルデザイン（Instructional Design, 以下、ID）の理論に基づく研修の開発および効果測定を通して、効果的なシステムアプローチについて明らかにするためのものである。本論文は以下の二つから構成される。一つ目は、ゴールベースシナリオ（Goal-Based Scenarios, 以下、GBS）に基づくブレンド型研修コースの開発と効果の測定（第2章・第3章）、二つ目は、ADDIEモデルおよび経験学習モデルに基づくブレンド型研修コースの開発と効果の測定（第4章・第5章）である。

第2章（研究1）・第3章（研究2）では、医療現場における継続教育において、GBSに基づくブレンド型研修コースが効果的なのか検討した。研究1は、放射線科に従事する看護師、放射線技師を対象とした造影剤副作用発現時の対応研修である。ブレンド型研修コース（シナリオ型ビデオ教材+シミュレーション）と講義のみのレクチャー型研修を設計し、実験条件による効果について比較した。研究2は、看護師、消化器内科医師、コメディカルを対象とした急変時対応研修である。ブレンド型研修（シナリオ型eラーニング教材+シミュレーション）を設計し、職種の違い、eラーニング指向性による効果について検討した。その結果、研究1では職種による効果に差がみられたものの、研究2では、職種の違い、ならびに、eラーニングの指向性による効果に差はみられなかった。研修の内容は日常業務と密接に関連していることから、研修に対する動機づけの違い、日常業務との関連性が学習効果に影響を及ぼす要因として推察された。これらのことから、研修コースの開発では、実践場面との関連性を高めるような体験学習を行うこと、学習者のニーズに応じた題材を扱い動機づけを高める必要があることが示唆された。

第4章（研究3）・第5章（研究4）では、ADDIEモデル、経験学習モデルを採用し、看護師を対象としたブレンド型研修コースの開発と効果の測定について検討した。研究3は、新人看護師を支援するプリセプターを育成するための研修コースの開発である。開発の準備段階としてニーズ調査を行い、プリセプター資質尺度、ビデオ教材を作成した。研究4は、

新人看護師を対象とした失敗体験研修コースの開発である。研修では、現実的な文脈の中で失敗から学ぶ擬似体験ができるように、体験学習の内容は過去に新人看護師が失敗した場面について教材化した。研究3・研究4ともに、ブレンド型研修コース（シナリオ型ビデオ教材+ロールプレイ）を設計し、ワークは経験学習モデルのプロセスを応用して「具体的な経験」「省察」「概念化」する構成とした。そして、実践した結果、研究3では、プリセプターの役割に対する自信度が上昇し、研究4では、まだ経験したことのない失敗についてイメージ化を図ることができた。加えて研究4では、ARCS 動機づけモデルを応用し、研修要素と研修生の動機づけとの関連性について検討した結果、ビデオ教材と体験学習、講義資料を組み合わせたことによる効果が示唆された。これら ADDIE モデルに基づく研修コースの開発は、学習者のニーズに応じた設計が可能であり、経験学習モデルのプロセスを応用することによって、まだ体験したことのない事象を概念化できる。さらに、ARCS 動機づけモデルを応用した研修評価は、研修要素と研修生の動機づけとの関連性が明らかになることから、研修コースの評価・修正をするために有用と考えられる。

以上の研究成果に基づき、継続教育におけるブレンド型研修コース開発のためのシステムアプローチを提案する。本システムは7つのフェーズで構成され、本研究で得られた知見に基づき、各フェーズの構成要素は継続教育で応用可能な手法を下位項目として提示した。そして、研修の目的、到達目標に応じて選択できるよう具体的な方略を明示している。医療現場における継続教育は、さまざまなレディネスに応じた研修の設計が必要であり、研修で学んだことを現場で応用できなければならない。それゆえ、本システムを循環させることによって、より効果的かつ効率的な研修コースの開発に寄与できるものと考えられる。

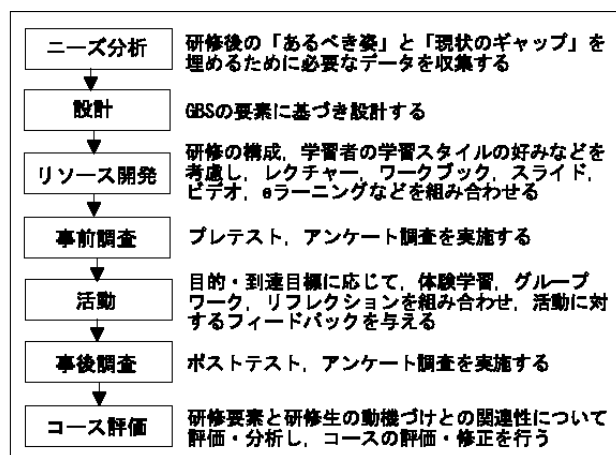


図1 継続教育におけるブレンド型研修コース開発のためのシステムアプローチ（一部）